

第56号 平成30年7月発行

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



「ふくしまプライド。」のCM「うまい！福島の桃」編を撮影したのは伊達市のもも園です。



収穫間近の「あかつき」



桑折町献上桃 25 周年記念式典を開催しました！



平成30年7月8日(日)、桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ」において、桑折町献上桃 25 周年記念事業実行委員会主催による「桑折町献上桃 25 周年記念式典」が開催され、関係者約 80 名が出席しました。

式典では、実行委員長の安彦慶一 ふくしま未来農業協同組合（以下「JA ふくしま未来」という。）代表理事専務と、実行委員会顧問の高橋宣博桑折町長がそれぞれ挨拶を行い、長年に亘り高品質な桃の生産や出荷に取り組まれた JA ふくしま未来桑折営農センターに対し感謝状が贈呈されました。

また、25年の歩みを映像とナレーションで振り返り、「献上桃の郷」が30年、50年と未来へ続くよう誓いを新たにしました。

(桑折町)



安彦実行委員長の挨拶



関係者の記念写真

献上桃の選果式が行われました！

平成30年7月25日(水)、伊達郡桑折町のJAふくしま未来桑折総合支店において、献上桃の選果式が行われました。

福島県は昭和54年から皇室に県産ももを献上しており、平成6年からは25年連続で桑折町産のもも「あかつき」を献上しています。

本年は、選果式当日の朝に収穫して共選場に搬入された約12万個の桃の中から、糖度、形状、着色、熟度などを基準に厳選した180個が選ばれました。

当日は、関係機関・団体の職員の他、桑折町観光キャンペーンクルー「スマイルピーチ」も参加し、華やかな選果式となりました。

当所としましては、引き続き高品質なものの生産のため関係機関と連携し、技術支援をしていきます。

(伊達農業普及所)



開会式の様子



関係者による選果風景



箱詰めされた献上桃



スマイルピーチの皆さん

ヤフー株式会社本社でトップセールスを行いました！

平成30年7月10日(火)、ヤフー株式会社本社(東京都千代田区)の社員食堂で、「JA Fukushima未来 もも&きゅうりふくしまプライド！宣言」と称した JA Fukushima未来のトップセールスが行われました。

本イベントは、「東北の本当にいいモノ＝こだわりのモノ」を届けている通販サイト、「東北エールマーケット」の運営を通じて本県の復興に貢献していただいているヤフー株式会社の協力を得て、風評払拭と消費拡大につなげることを目的に県も協力して開催したものです。

社員食堂では、ももやきゅうりなどの JA Fukushima未来管内産農産物や JA の6次化商品を試食販売し、そのおいしさをアピールしました。また、特設ブースで行われた販売会は行列ができるほど人気で、中でも、ももはすぐに完売となるほど好評でした。また、食堂の提供メニューにも管内のきゅうりやミニトマトが使用され、こちらも大変好評でした。

県では、今後も引き続き県産農産物の風評払拭や消費拡大を積極的に支援していきます。

(農業振興普及部)



出席者写真(前列左から3人目菅野 JA Fukushima未来組合長、4人目五十嵐県農林水産部政策監、後列左から4人目佐藤当事務所長)



行列のできた社員食堂「BASE11」内の特設ブースでの販売

福島市農業後継者連絡協議会がもものPRを行いました！

平成30年7月15日(日)、16日(月)に神奈川県川崎市にあるモトスミ・ブレーメン通り商店街において、福島県東京事務所主催による「とびっきりのふくしまサマーフェア」が開催され、福島市農業後継者連絡協議会員12名がもものPRを行いました。

今回は旬の品種である「^{きょうせい}暁星」をメインに試食販売を実施し、首都圏の消費者に福島の硬くても甘いももの魅力を伝えることができました。

また、今回初めて挑戦したオリジナル農産物詰め合わせ商品「^{ふくいろびん}福彩便」の予約販売を行い、8月～9月に福島市で生産される、ももやぶどうなどの農産物の魅力を紹介しました。

当事務所としましても、農業後継者の行う農産物PR活動等について引き続き支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



福島市産「暁星」の販売



おいしいもの食べ方をPR

平成30年度県北地方GAP推進協議会を開催しました！

平成30年6月20日(水)、伊達合同庁舎において、当事務所主催により、「平成30年度県北地方GAP推進協議会」を開催し、構成員である市町村、農業協同組合、卸売市場、当事務所等から31名が出席しました。

本協議会は、GAPの円滑な推進を図るためには関係機関・団体等が連携し一体となって取り組む必要があることから、県北地方のGAPの推進組織として、平成29年8月31日に設立されました。

協議会では、平成29年度の認証GAP取組状況、平成30年度認証GAP取組方針について協議した後、JGAP団体認証の取得についてJAふくしま未来が、認証GAPを活用した取組について有限会社まるせい果樹園が、それぞれ事例報告を行いました。

当事務所としましては、認証GAP取得が拡大するよう、関係機関・団体と連携し、引き続き積極的な支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



協議会の様子



大勝農業振興普及部長の挨拶

第1回県北・相馬地方 GAP 研修会を開催しました！

平成30年7月9日(月)、ホテル福島グリーンパレスにおいて、当事務所及び相双農林事務所主催、JAふくしま未来共催により「第1回県北・相馬地方GAP研修会」を開催し、農業者や関係機関等を含め約200名が参加しました。

本研修会では、福島県環境保全農業課GAP推進員の遠藤芳美氏から、GAPの基礎とGAP活用の優良事例について講演をいただきました。また、JAふくしま未来営農部営農販売強化対策グループ専任部長の佐藤裕一氏から、JGAP団体認証取得までの取組について報告をいただきました。さらに、有限会社まるせい果樹園の佐藤ゆきえ氏からは、第三者認証GAP取得による風評対策及び経営改善の取組について事例発表をいただきました。

参加者からは、「認証機関による審査ではどの部分を指摘されたのか」、「認証を受けるには該当する必須・重要項目のうち何割適合しなければならないのか」など具体的な質問が出され、GAPへの関心の高さが伺えました。

当事務所では、認証GAPの取得拡大に向け、引き続き支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



佐藤当事務所長の挨拶



遠藤芳美氏の講演の様子

鳥インフルエンザ対策 県北地方連絡会議を開催しました！

平成30年7月3日(火)、県庁北庁舎において「福島県高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ対策県北地方連絡会議」を開催し、連絡会議の構成員である関係機関、団体から約45名が出席しました。

連絡会議は、県北地域における鳥インフルエンザ対策の推進、防疫体制の整備を目的として設置されており、今回、本病への対応にかかる組織体制や役割分担、初動防疫、本年度の活動について確認しました。

近年、近隣国や国内において家きんの高病原性鳥インフルエンザ発生事例が増えており、本県へのウイルス侵入リスクは一層高まっていると考えられ、今まで以上に本病の侵入防止対策、発生時の備えが重要になっています。

万が一、本病が発生した場合に、万全の体制で初動防疫が行えるよう、より実行性のある防疫計画の作成が必要であり、本年度は、計画作成に向けて構成員が連携して取り組んでいきます。

(農業振興普及部)



会議の様子



県北家畜保健衛生所からの説明の様子

**ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部
平成30年度総会及び意見交換会を開催しました！**

平成30年7月6日(金)、福島市の中町ビル2階会議室において、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動県北地方推進本部総会及び意見交換会」を開催しました。

総会では、JAふくしま未来等の各種団体や市町村など、生産から流通・消費に係る県北管内の関係団体から30名が出席し、本年度の事業計画等について協議しました。

また、会議の後半は、「道の駅等を核とした地域産業6次化による農業者の所得確保」と題し、国見まちづくり株式会社、道の駅国見あつかしの郷の中條伸喜氏をはじめ、JAふくしま未来、伊達市、大玉村から話題提供していただきました。

その後に行った意見交換は、今後、各関係団体で6次化の取組を進めていくための参考になった様子でした。

当事務所でも、引き続き6次化に取り組む団体を支援していきます。

(企画部)



挨拶する佐藤当事務所長



中條氏による話題提供

安達地方指導農業士会春季研修会を開催しました！

平成30年6月22日(金)、二本松市において、「安達地方指導農業士会春季研修会」が安達地方指導農業士会の主催で開催されました。同会では、種々ある行事には夫婦での参加を基本としているとのことで、今回の研修でも会員6名と配偶者4名が参加されました。

本研修会は新たな会員が入会されたときにお宅を訪問して、会員相互の親睦を深めるというもので、今回は菊地美穂氏宅を訪問しました。菊地氏の義母も元指導農業士であり、菊地氏は二代目ということになります。

菊地氏はりんごなど2.5ヘクタールの果樹園と直売所を経営しており、りんごの他、「冷え冷えアップル」やジャム、梅干しなどの加工品も販売しています。りんご園内を見学した後、築130年の養蚕農家をリフォームした御自宅にお邪魔して、「冷え冷えアップル」などをごちそうになりながら、りんご経営や、加工品の製造販売、農家民宿の開業などについて活発な議論が行われました。

今後も安達農業普及所では、農業士の活動の支援を通じて安達地方の農業振興をはかっていきます。

(安達農業普及所)



菊地氏が嫁に来たときから続けている直売所



夫の英男氏からりんご園の説明を受ける



築130年の家屋のリフォームに興味津々



「ブルーベリーパイ」(左)と「冷え冷えアップル」

「田んぼの学校生きもの調査(アクアマリンふくしま簡易移動水族館)」が行われました！

平成30年7月11日(水)、福島市立飯野小学校で、平成30年度「田んぼの学校生きもの調査(アクアマリンふくしま簡易移動水族館)」が行われました。

この事業は、農村地域の重要な要素である自然環境を学びの場として活用し、年間を通した米作り、生きもの調査等の体験型学習や農業施設見学を行う取組で、県が実施する「ふくしまの農育」推進事業を活用して、当事務所と共同で、「総合的な学習の時間」の一環として5年生児童を対象に実施されるものです。

例年の生きもの調査は、春先に田植えした学校田で水生生物を採集し、観察するものですが、今回はアクアマリンふくしまの協力を得て、命の教育グループ 春本宣徳先生から授業を受け、田んぼの働きや自然環境の大切さについて学び、水田にいる水生生物を観察しました。

授業後の児童からは、「トノサマガエルとにらめっこしたら全然瞬きしなくて自分が負けた気分になった」などの感想が聞かれました。

また、春本先生からは、「アクアマリンふくしまでは県内各地の小学校で今日のような出前授業と実際に田んぼや川に入って魚や昆虫を捕まえる体験学習をしているが、飯野小学校の皆さんの授業態度が真剣でとても良かった」「自然界の食物連鎖など少し難しい話についても大変興味を持って聞いてくれていたので、将来アクアマリンふくしまで仕事がしたい人がいたら歓迎します。これからも頑張ってください」との講評をいただきました。

(農村整備部)



飯野小学校、佐久間校長先生(左)の挨拶



春本先生による生きもの説明



授業の様子



にらめっこが強いトノサマガエル

大学生の発想で新たな「りょうぜん」の魅力発掘を！

伊達市霊山町の「NPO法人りょうぜん里山がっこう」では、昨年度より福島県の「大学生の発想によるけんぽく『食』と『農』の魅力発信事業」に取り組んでいます。この事業では、大学生が過疎・中山間地域の住民と交流して「食」と「農」の魅力等について理解を深め、学生自らの発想で新たな郷土料理やスイーツを開発したり、更に今年度は地域の魅力を発信する観光ツアーを企画したりして、これらの活動をSNS等により情報発信することを目指しています。

本年度は、福島学院大学の特別研究「地域との連携と活性化」という授業課題の一環として取り組みを始め、平成30年7月14日(土)、同大学食物栄養学科の学生9名と、農業者を含む地元住民等、関係者約25名が参加しキックオフ・ミーティング、地元野菜を使った料理実習と試食会の後、午後からは霊山の魅力を見つけるフィールドワークを実施しました。今回を含め計5回のワークショップの開催が予定されています。

次回からは新たな郷土料理の試作検討とツアー企画を考案する予定で、完成した新メニューについては、地元の美味しい物を一同に並べて試食・提供する「大石たべもの博」(平成30年11月18日(日)開催予定)へ出展しPRする予定です。

(企画部)



地元野菜を使った調理実習



完成した野菜満載料理



大霊山線からの眺望をチェック



旧別格官幣社 霊山神社を見学

第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました！

平成30年7月28日(土)、福島市のヨークベニマル福島西店にて、第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

このキャンペーンは県北地方の特性を生かし、県産農林水産物のおいしさや安全性を県民の皆様にも再認識していただき、県内消費の拡大、地産地消の推進を図るために開催しているものです。

当日は、ミスピーチキャンペーンクルー等が旬のみずみずしいももと新鮮な夏野菜の試食品を提供しておいしさをPRし、来場者に大好評でした。また、風評払拭に向けたパネル展示やアンケート調査も行いました。

第2回は、10月28日(日)に福島市公設地方卸売市場で、第3回は11月11日(日)に二本松市の道の駅安達上り線で開催する予定です。詳細は決まり次第、けんぼく農林ニュース等でお知らせします。次回以降も、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(企画部)



アンケート実施の様子



ミスピーチによるももの試食提供



福島駅でもものPRパネル展を開催中です！



もものシーズン到来！！平成30年7月25日(水)から8月9日(木)まで、JR福島駅新幹線改札内にて、福島県くだもの消費拡大委員会主催により、旬のももをPRするための「桃の木」と「桃PRパネル」を展示しています。

パネル展では、福島県の安心・安全に向けた取組やももの産地(福島市、伊達市、国見町、桑折町)の夏おすすめスポットともも関連情報などを紹介していますので、ぜひご覧ください。

(企画部)



パネル展の様子

「がんばろう ふくしま！」応援店 プレゼントキャンペーン

第1回抽選会が行われました！

平成30年7月9日(月)、当事務所内において、「がんばろう ふくしま！」応援店プレゼントキャンペーンの第1回抽選会が行われました！

今回の第1回抽選会には、佐竹県農林水産部長も参加し、6月分の当選者を決定しました。毎回旬な県産農林水産物をプレゼントとしていますので、ぜひ御応募ください！

(企画部)



抽選会に挑む佐竹県農林水産部長(中央)

「がんばろう ふくしま！」応援店で
県産農林水産物をお買い上げ、もしくは
御飲食されたレシートが対象です！

- 一口3,000円…Aコース
 - 一口 200円…Bコース
- に応募できます。

抽選は毎月1回行われます！
詳しくは店頭のお募用紙をご覧ください

■キャンペーンの概要



■「がんばろう ふくしま！」応援店やプレゼントキャンペーンの詳細は、
専用ホームページをご覧ください！

「がんばろう ふくしま！」応援店 [検索](#)

平成 31 年度農業短期大学校入校生の募集が始まりました！

県農業総合センター農業短期大学校（愛称：アグリカレッジ福島）では平成 31 年度の入校生を募集しています。

農業短期大学校は水田経営学科、野菜経営学科、果樹経営学科、花き経営学科、畜産経営学科の5つの学科に分かれており、各学科では農業者として必要な専門知識や技術を2年間かけて学ぶことができます。学内の授業や実習以外にも、先進農家での研修を行っており、実際の就農を体験できます。また、学生1人1人にほ場やハウスの担当が決められており、農作物を栽培する苦労や収穫の喜びを経験することができます。

入校試験は推薦入校試験と一般入校試験（前期・後期）があります。8月2日（木）にはオープンキャンパスを開催しますので、参加希望の方は農業短期大学校（電話 0248-42-4113）へお問い合わせください。また、学校見学も随時受け付けております。

愛称：アグリカレッジ福島
福島県農業総合センター農業短期大学校
平成31年度 学生募集

<p>募集人員及び修業年限</p> <p>全体定員 60名 修業年限 2年</p> <p>水田経営学科 15名程度 花き経営学科 10名程度 野菜経営学科 15名程度 畜産経営学科 10名程度 果樹経営学科 10名程度</p>	<p>推薦入校試験</p> <p>試験日 平成30年11月2日(金) 試験科目 小論文、学力試験(国語総合、数学I) 面接 出願期間 平成30年10月1日(月) ~ 10月5日(金)</p>
<p>一般入校試験(前期)</p> <p>試験日 平成30年12月7日(金) 試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、面接 出願期間 平成30年11月12日(月) ~ 11月16日(金)</p>	<p>一般入校試験(後期)</p> <p>試験日 平成31年2月15日(金) 試験科目 学力試験(国語総合、数学I)、面接 出願期間 平成31年1月15日(火) ~ 2月1日(金)</p>

※願書提出後に希望経営学科を変更できる期間を設定しています

【問い合わせ先】
福島県農業総合センター農業短期大学校農業経営部入試担当
 〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木440番地1
 TEL 0248-42-4113 FAX 0248-44-4553
 E-mail: nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

農業短期大学校ホームページ

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/>

(農業振興普及部)

福島大学農学群食農学類(仮称)説明会が開催されました！

平成 30 年 7 月 20 日(金)、福島市のコラッセふくしまにおいて、国立大学法人福島大学の主催により「福島大学農学群食農学類(仮称)説明会」が開催され、約 90 名が参加しました。会場には食品加工業者や高校生の姿もあり、同学類設置に対する企業や若者の関心の高さが伺われました。県全域を実践型教育のフィールドとして、地域課題の解決を目指すプロジェクトに取り組む方針などが明らかとなり、福島県の農業復興のための人材育成、地域貢献への期待が高まっています。

(企画部)

県北産フルーツを食べられる！お店を紹介してください。

企画部では、県北産フルーツを食べられるお店の情報を募集しています。県北管内の飲食店で県北産の果物が食べられ、誰もが購入できる商品の写真を下記メールアドレスに送っていただくか、Instagram に「#フルーツふくしま」と「#kokorophoto_smr」のハッシュタグをつけて投稿してください。

Instagram の投稿は「こころの風景フォトコンテスト」への応募も兼ねていますので、入賞作品に選ばされると、賞品がもらえます！おすすめの逸品をぜひ紹介してください！

詳しくは、下記をご覧ください。情報、お待ちしております！！

(企画部)

県北産 **フルーツ** を食べられる！
お店を紹介してください。

果物王国ふくしま が誇る！！の「県北産果物」はどこで？
「食べれるの？」と「買えるの？」という疑問に答えたい。

カットフルーツ、パフェ、ケーキ、クレープ、ピザ、パイ etc
(皮つきそのままを除く) **おすすめの逸品の写真を提供ください。**

いただいた情報の一部は、県の地域振興の施策等で活用させていただきます。
県北農林事務所のホームページや関連するフェイスブック、
インスタグラム、ポスター等に掲載される可能性があります。
また、提供いただいた店舗の了解を得て取材に伺う可能性も
あります。他薦、自薦可 情報提供をお待ちしています。

Hotで食べる！
食文化の普及を
推進していますので、
Hot 商品☆大歓迎☆です。
Hotフルーツプロジェクト

1. 推奨商品について
福島県北（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、
川俣町、大玉村）エリアの飲食店で県北産果物が食べられ、
2. 提出方法 **誰もが購入できる商品**

(1) メール
企画部メールアドレス：kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp
件名を「逸品フルーツ情報提供」として本文に店舗（名前と住所、電話番号）
と商品（メニュー名、コメント）、情報提供者の電話番号を記載し、逸品の写真（食
べ物やそれを食べている状況どちらも可）を添付して送信。

(2) Instagram
写真に商品、店舗に関するコメントや位置情報、
ハッシュタグを付して投稿。
ハッシュタグは、 #フルーツふくしま
と #kokorophoto_smr
※後者は、「こころの風景フォトコンテスト」への応募も兼
ねております。詳しくは URL: <http://kokorophoto.jp>

3. 注意点

(1) 写真
未発表でかつ応募者一切の著作権を有しているオ
リジナルで、予め被写体（店舗や人物等）に承諾を得
たものとしてください。

(2) 著作権と個人情報
いただいた写真の著作権は、福島県に帰属します。
い合わせをする際に使用させていただきます。

(3) メール、インスタグラムを出来ない環境の場合はお電話ください。

4. 問い合わせ先⇒福島県県北農林事務所企画部地域農林企画課 小野 tel 024-521-2596

けんぼくの6次化の取組の紹介 有限会社 まるい



「麓山高原豚を使った福島ホルモン！」

震災後、「福島の復興のために、福島のご当地ホルモンを作りたい！」という、食肉会社を営む社長の思いから生まれた「福島ホルモン」は現在3種類を展開しています。

川俣町と二本松市にまたがる「麓山(はやま)」地区の全国農業協同組合連合会福島県本部(通称「JA全農福島」)の農場で生産された脂身がとてもおいしい、「麓山高原豚」の新鮮な「モツ」を使っています。

平成 25 年に発売された濃厚な豚のうまみが溢れ出る希少部位の「キクアブラ」を入れた、「福島ホルモン」は、醤油仕立てと味噌仕立て2種類。その1年後に発売された「福島ホルモン 塩がつ」は、「酒のつまみにぴったり！」と社長のオススメ商品です。「ガツ」は豚の胃袋で大量入手が難しいため、販売店が限られます。見かけたら、ぜひご賞味ください。

「福島ホルモン」を食べて、暑い夏を乗り切りましょう！！

●取扱店舗

いちい、イオン、県内高速道路サービスエリア（一部を除く）

●事業者データ

〒960-8204 福島県福島市岡部字中川原 118-1

☎ 024-534-0101 FAX 024-531-8501

●ホームページ

<http://www.534-0101.com>



「福島ホルモン」醤油仕立て(左)と味噌仕立て(右)



社長オススメの「塩がつ」

編集・発行 福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

